

スクールワイド PBS 行動支援計画表 (1月 : はきものをそろえよう)

ステップ 1 : 学校全体で増やしたい行動(標的行動)を決める		
上履きをそろえる		
ステップ 2 : 児童生徒に伝える「標的行動を行う理由」を考える		
○ 落ち着いた気持ちで下校し、気持ち良く1日を始めることができるから。物を大切にできる心が育つから。		
ステップ 3 : 標的行動の具体例を考える		
良い例	悪い例	
○ 上履きを靴箱に置く時、上の段に2足のかかとを揃えて置いている状態。	○ 2足のかかとは揃っていない、上履きが落ちている状態。	
ステップ 4 : 学校全体で標的行動を増やすためのきっかけ、行動、結果に対する具体的な支援を計画する		
きっかけ (わかりやすい状況を作る)	行動 (できるように確認・練習する)	結果 (望ましい結果を随伴させる)
<p>○ 先生方</p> <ul style="list-style-type: none"> → 上履きを揃えるという意識を高めるために、靴箱にかかとを揃えて並べるポスターを掲示する。 → 上履きを揃えるために、教室での下校指導後、落ち着いた気持ちで靴箱に行けるような手立てを例示する。 <p>(例)・ 並んで静かに階段を降りるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生が引率する。 → 手立てを確認する。方法については各先生方が自由に採用する。 → 朝の時間に放送を入れる。先生方が前日の上履きのフィードバックをする。 	<p>○ 児童</p> <ul style="list-style-type: none"> → 1月20日の業間の時間を使い、説明する。 → 上履きが揃っている様子と揃っていない場合の写真を見て、気持ちがどのように違うのかを確認する。 <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スライド・画像で提示 	<p>○ 先生方</p> <ul style="list-style-type: none"> → 児童の様子を観察し、上履きが揃っている様子や揃えている姿が確認された際には、「すぐに」「具体的に」もしくは「次の日の朝の時間」に認め、ほめる。
ステップ 5 : 学校全体で児童生徒の標的行動の変容を評価するための記録方法を計画する		
○ 学級担任・専科の先生方 それぞれに記録用紙を配り、評価を実施してもらう。		
ステップ 6 : 全児童生徒や全教職員に支援結果をフィードバックする方法を計画する		
○ 職員には、キャンペーンの結果について児童と一緒に放送でフィードバックする。		
○ 児童には、キャンペーンの結果を放送や掲示物を使って、知らせる。		
○ 保護者には、校長だよりを活用して知らせる。		

